

第20期 事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

今治コミュニティ放送株式会社

コロナ禍の影響は已然と続いており、営業は大変厳しい状況です。しかしいつ起こるか予測できない自然災害など緊急に市民に危険を知らせるツールとしての役割は以前より大きくなっております。

また、コミュニティ放送は政府の「地方創生」「情報難民プロジェクト」施策の一翼を担うなど、地方活性化の中心的な存在として高い評価を受けていることもあり、事業収支の減少があった一方で、新しい生活様式や地域別の感染防止啓発、教育補助、また心に寄り添う番組制作等により、確実に聴衆者数が増加、社会における価値を高め現在、全国で334局となりました。全国誌においてもラジオ特集やコミュニティ放送に関する記載が増えたことも、意識の高まりの現れと実感しております。コミュニティ放送は、災害に関してのリアルタイムの対応と、双方向の情報収集力は現在高い評価を受けております。毎日地域に密着した放送を行っているからこそ、地域の防災、災害情報を分かりやすく伝えることができます。いつ来るか分からない自然災害に緊張感を持ちながら、防災意識の啓発に努めます。